



一目惚れから♡はじまる家づくり

一目惚れだったんです

一目惚れ、だったんです。エフリッジホームさんの建てる家に。以前住んでいたアパートの近くでたまたまオープンハウスを見つけて行ってみたら：私と夫、インテリアの趣味は違うはずなのに二人とも惚れ込んでしまった。ほかの建築会社さんも何軒か見て回ったけれど、エフリッジホームさんで建てることに一ミリも迷いはありませんでした。スタッフさんたちは、言いたいことを何でも言える人たちで、わがままもいっぱい聞いてもらいましたね。すごいと思うのは、伝えるのがたとえ曖昧なイメージだけだったとしても、見事にかたちにしてくれるところ。できあがったのを見たら想像以上！というところがたくさんありました。土地探しは大変だったけれど、家づくりは最初から最後まで楽しくて、完成するのが寂しいくらいでしたね。

キッチンを中心に

私のこだわりは何と言ってもキッチン。キッチンが中心にある家が憧れで、どれだけわがままを言ったことか(笑)。例えばキッチン前のカウンター。カウンター用の高い椅子で座るのではなくて、子どもたちが普通の椅子に座ってゆったり宿題をできるようにしたい！そんなイメージ

ジを伝えたいです。すると、キッチン側の床を下げてカウンターとキッチンの天板をフラットにするという提案。さすがプロ！と感心しきりでした。

当初、キッチンの右側は和室の設計だったんです。キッチンのすぐ横に和室の壁が立つことになるから、ちよつと狭く感じるかななんて何気なく言ったら、まさかのダイニングに！驚きましたね。隣がダイニングなら、とIHの前を窓にしたり、キッチンの後ろからも抜けられるようにしてもらったり。ダイニングが狭く感じないように、和室の壁は斜めになっているんです。この和室の窓、波打つガラスがいいでしょうか？照明をつけるのもとってもきれいなんですよ。お雛様を和室に飾っているとき、ガラスを通してぼんやり見える様子が最高に気に入っているんです。自分たちだけでは絶対に思いつかないですよ、こんなに素敵なお家。

動のリビング、静の個室

家を建てるなら、子どもたちがリビングを通して個室に行く間取りじゃないと！とずっと思っていたんです。リビングを通る家なら子どもはグレない、みたいなイメージがあったんですよ。でもこの土地の形状からはそのような家は難しく：提案されたのが、玄関を入っ

て左がリビングで右が個室、というプラン。静かに寝られていいですよ、とプランナーさんが勧めてくれたのですが、実際暮らしてみると正にその通りでとても快適！私の思い込みだったんですよ：リビングを通るからグレないんじゃない、グレなかったらリビングに来るだろうって今は思えるんです。こちらの思い込みを覆してくれるような提案力も、エフリッジホームさんの魅力ですね。

また同じ家を建てたい

パパの趣味部屋は3帖の広さ。趣味が多い人だから、この部屋にはこだわりがたっぷり詰まっています。有孔ボードに

釣竿をディスプレイしたり、鞆を吊り下げたり：「この一面が男の部屋って感じで存在感ありますよねえ！」なんて設計担当の方と嬉しそうに話していましたね。最初はこの部屋で仕事もすると言っていたのですが、居心地がよすぎて仕事モードにならないですって(笑)。パパはこの家が本当に大好きで、毎日早く家に帰りたい感じがしないらしいです。もう一度家を建てるならどんなのがいい？と聞かれたら、このまま全く同じ家を建てるって答えます。一目惚れから始まって、その「好き」が打ち合わせを重ねても、暮らし始めてもずっとそのまま続いています。それって：最高に幸せなことですよ。

